

時間割番号	科目名[英文名]	単位数
R5	木材流通論 [Theory of Wood Distribution]	0.5
担当教員(責任)[ローマ字表記]		
檜崎 達也 [NARAZAKI Tatsuya]		
担当教員[ローマ字表記]		
檜崎 達也 [NARAZAKI Tatsuya]		

授業題目(必須入力)

木材流通論 [Theory of Wood Distribution]	
-------------------------------------	--

授業のキーワード(必須入力)

木材流通 (Wood Distribution), 木材市場 (Wood Market), 販売協定 (Marketing Agreement), 製材工場 (Saw Mill), 物流コスト (Logistic Cost)	
--	--

授業の目的(必須入力)

森林から生産された木材が、製材・加工されて、最終的な消費者に木製品が届くまでの流れを理解する。原木流通に関する慣習、原木流通に関する近年の構造変化、原木流通を構成する要素を学ぶことにより、国産材の増産に向けた課題を考える。	
---	--

授業の到達目標(必須入力)

木材市場ならびに製品市場を核とした従来の木材流通による木材流通の問題に関する理解を深める。また、ビジネス的視点から従来の原木流通の考え方・慣習と近年の原木・製品流通の構造の変化を学ぶことにより、流通販売の可能性を学ぶ。さらに、製材工場や加工工場から工務店などの消費者に木製品の販路を広げるマーケティングの取り組みを学ぶ。これらの知見を基に、消費者のニーズに合わせた柔軟な木材生産のあり方について議論する。	
--	--

ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標) / 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

(知識・理解) 生物生産技術の開発と普及、生物資源の利用と管理、環境の保全と創生などに関する高度な専門知識と技術を修得している。 (思考・判断) 循環型社会の構築の観点から、地域社会や国際社会における食料、資源、環境に関連する諸課題の原因を論理的考察に基づいて説明し、有効な解決策を見い出すことができる。	
---	--

授業概要(必須入力)

株式会社サイプレス・スナダヤの原料確保の現状を紹介し、愛媛県内、四国内、あるいは海外からの輸入も含めた木材流通の実態を学び、国際的な木材流通の流れの中で、木材市場を核とする日本の従来の木材流通のあり方の問題を検討する。また、製材・加工された木製品の販売先の確保と販路拡大の取り組みを学び、木材の出口確保の重要性を理解する。さらに、消費者のニーズに合わせた製品の生産による木材供給量の確保について議論を行い、それによる価格の向上と流通コストに関する経済的な考察を行う。	
---	--

授業スケジュール(必須入力)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 従来の木材市場・製品市場を核とする木材流通 2. 近年の原木の大規模・広域流通 3. 木製品の販売先の確保と販路拡大 4. 国産材の流れ 5. 国際的な木材流通 6. 消費者のニーズに合わせた木材生産 7. 木材流通の利益とコスト 8. 新たな木製品CLTの普及と木材流通 	
--	--

授業時間外学習にかかわる情報(必須入力)

講義の中で課題を出すので、次回の講義までに調べてくること。	
-------------------------------	--

成績評価方法(必須入力)

レポート評価: 80% 授業への取り組み: 20%	
------------------------------	--

受講条件(任意入力)

--	--

受講のルール(任意入力)

--	--

教科書(購入する必要のある図書)(必須入力)

教科書1	書名		ISBN	
	著者名		出版社	出版年
教科書2	書名		ISBN	
	著者名		出版社	出版年

参考書(購入する必要はないが、推奨する図書)(必須入力)

参考書1	書名		ISBN	
	著者名		出版社	出版年
参考書2	書名		ISBN	
	著者名		出版社	出版年

教科書・参考書に関する補足情報(必須入力)

必要に応じてプリントを配布する。	
------------------	--

オフィスアワー(必須入力)

基本的に、講義終了後2時間程度。しかし、連絡があればいつでも可。	
----------------------------------	--

連絡先(必須入力)

--	--

参照ホームページ(任意入力)

https://www.forestmediaworks.co/	
---	--

その他(任意入力)

--	--